

にぎわい通信



唐津港

「唐の津ハーバーフェスタ」開催！



九州からは唐津港で開催されました、「唐の津ハーバーフェスタ」と海岸に打ち寄せられる漂着物について、ご紹介させていただきます。

内閣府が募集した「地方の元気再生事業」に国・県・市・港湾関係団体・NPO・地域住民等で構成する「唐津みなとまちづくり懇話会」が「唐津の海辺の魅力を活かした観光振興事業」を応募し、本年5月に採択されました。昨年度に引き続き、佐賀県ヨットハーバーを中心として「日本一豊かな海辺都市」を目指した取り組みが行われています。

その中で、本年10月11日（日）に開催した「第3回唐の津ハーバーフェスタ」について紹介いたします。

“お城からフェリーターミナルまで” 海岸線に描く唐津未来予想図



10月11日（日）、最高の天気に恵まれた午前10:00、唐の津ハーバーフェスタが開催されました。今回の目玉は、海岸線を巡る、唐津初のウォークラリー「Castlebay Walk Rally」です。九州電力敷地内と玄海ヤンマーの協力により実現した、1日限定片道4kmの海岸線ウォークラリーで、スタート時にはすでにたくさんの来場者で、会場が賑わいました。





ウォークラリー沿いには、レーザーラジアルヨット世界選手権大会より使用している「Castle Bay Week」のフラッグをたて、参加者はそれを目印にウォーキングを楽しみました。

また、ラリーポイントでは、参加者を飽きさせない賑やかなイベントを実施しました。



メイン会場にある玄海ヤンマーでは、船の修理工場の建物をそのまま活用し、レーザーラジアルヨット世界選手権大会の写真展を開催しました。迫力あるヨットレースや唐津の海の豊かさ美しさを伝える約 100 作品の中から、来場した方が審査員というテーマで、ベスト写真に投票していただきました。

玄 海ヤンマー前では、プロムナードを活用してハーバーカフェと音楽ライブを開催しました。設置されたパラソルやテーブルにゆっくりと座ってくつろぎながら、海やヨットが停泊する景色と音楽、美味しい食をセットで楽しんでもらうことが出来ました。



ヨットハーバー、西の浜では、海の魅力に触れてもらうたくさんの仕掛けを行いました。船釣り大会、水難救助公開訓練、クルーザーヨットミニレースの他、海で遊べるマリンスポーツは、なんと！10種類。約350の方が体験し、特にバナナボートとシーカヤックは大好評でした。



小型ヨット



大型ヨット



佐賀県ヨットハーバー



アクアスキッパー



バナナボート



16:00から玄海ヤンマーでは、国際シンポジウムを開催し、ROBERT YARO氏とNATHANIEL YARO氏をゲストに迎え、市民ボランティア、クルーザーオーナー、まちづくり関係者とともに唐津の海が豊になるにはどうしたらよいか議論しました。

★★★たった1日でしたが、フェリーターミナルから唐津城まで海が繋がり、ボランティアスタッフも含め1,000人近くの方がイベントへ訪れ、唐津のさまざまな海の楽しみ方を発見して、楽しんでいただきました★★★

～Castle Bay Weekフォトコンテスト 受賞作品～

唐の津ハーバーフェスタにおいて、応募作品約100点の中から、市民・観光客により、1人3票の投票が行われ、6点の作品が選ばれました。受賞作品以外にも唐津の海の魅力を切り取った実にすてきな写真がたくさんありました。唐津の海をもっと知ってもらいたいということで、写真展の追加開催もしています。

風景部門（グランプリ賞）

「砂に浮かぶヨット」



ヨット部門（グランプリ賞）

「荒波を乗り越えて」



優秀作品（キャッスルベイ賞）



「ヨットと唐津の海」



「唐津城を望み走るヨット」



「唐津のセレナーデ」



「城とヨット」



海岸に打ち寄せられる漂着物について

10月18日（日）に、唐津湾にある鳥島において、鳥島を語ろう会による「とりしま自然体験隊秋の清掃事業」が行われました。清掃事業では、以下の漂着物が確認されました。



韓国：ペットボトル（济州島と思われるもの含む、洗剤容器含む）17個

中国：ペットボトル（台湾と思われるもの含む）6個

韓国：漁具、ブイ5個

韓国：20リットルビニール缶1個



編集・問い合わせ先

日本海・にぎわい交流海道ネットワーク 事務局

国土交通省九州地方整備局 港湾空港部港湾計画課

TEL 092-41-3358 FAX 092-418-3037